

ISSN 2758-092X (online)

地域活性化 ジャーナル

The Regional Vitalization Journal

第31号

2025 MARCH

成長を続ける地域イベントに関する
一考察

～2024出雲崎ストリートJAZZを事例に～

シンガポールの国際大会出場にみる
男子体操選手の比較

～国際大会出場が体操選手に与える影響～

令和6年度チャレンジ大学講座実施報告

－アクロバット講座・体づくり運動広場の
課題と展望について－

新潟経営大学
地域活性化研究所

ごあいさつ

今年度も無事、「地域活性化ジャーナル」を刊行することができました。これもひとえに、新潟経営大学教員の日々の教育研究活動と、本学職員や学生のサポート、そして活動のフィールドを提供してくださっている地域の皆さまのおかげであります。まさに、本ジャーナルは大学と地域で作上げた研究成果と言えます。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

さて、新潟経営大学 地域活性化研究所は、1998年に大学付属機関として設置され、専任教員を専任研究員とする地域のシンクタンクとして、公開講座やシンポジウムの開催など、地域活性化の支援に取り組んでまいりました。これらの支援に加えて、本学教員が日々取り組んでいる研究成果を地域に還元するために発刊されたのが、「地域活性化ジャーナル」です。新潟経営大学には実に多様なバックグラウンドや専門領域を持った教員がおり、本ジャーナルにこれまで投稿された論文を見ても、経営学、経済学、スポーツ、まちづくり、農業、教育学、心理学と多彩なテーマであふれています。

現在、わが国では、地域の人口減少、経済停滞など、地方だけではなく国全体の衰退まで危ぶまれるようになっていきます。さらに近年では、地域で100年以上受け継がれてきた祭りや文化が途絶えるなど、課題は経済的側面以外にも山積しています。こうした現状を鑑みれば、「地域活性化」はまちづくりや地方政治、都市政策などの専門家だけが取り組んでいけばよいというテーマではなくなってきたのではないのでしょうか。元来、大学の使命は、「教育」「研究」「社会貢献」です。自身の教育研究をいかに社会貢献（地域貢献）に役立てるのか。研究者一人ひとりがその意識・視点をもって日々の教育研究に取り組むことで、本学のように多様な研究者がいる大学から、多様な視点での地域活性化のヒントが生まれるものと考えます。本ジャーナルが、そうした新たな気づきが得られる場となることを望みます。

昨年、わが国はこれからの国の指針として「地方創生2.0」を打ち出しました。そこでは、各地域における「産官学金労言」の関係者が、「女性や若者にも選ばれる地域」となるため、自ら考え、行動を起こすことの必要性を訴えています。今後、これまで以上に地方の大学は地域の方々と議論し、協働していくことになるでしょう。その際に、有益な話題提供をできるよう、今後もこのジャーナルを通じて地域の最新情報、成功事例、活動報告や調査結果などお届けし続けます。学内外の皆さまの関心とご協力が、このジャーナルを成功に導く鍵となります。今後も、共に成長していくための媒体として、皆さまのお力をお借りできれば幸いです。

改めて言うまでもありませんが、地域の未来は、私たち一人ひとりの手にかかっています。共に力を合わせ、明るい豊かな社会を築いてまいりましょう、と期待の言葉を込めまして、巻頭の挨拶とさせていただきます。

地域活性化研究所
所長 落合 純

目次 2025 Vol.31 CONTENTS

〈論 文〉

成長を続ける地域イベントに関する一考察

～2024出雲崎ストリートJAZZを事例に～

スポーツマネジメント学科

准教授 大 内 斎 之 …………… 3

シンガポールの国際大会出場にみる男子体操選手の比較

～国際大会出場が体操選手に与える影響～

経営情報学部

講 師 森 赴 人

経営情報学部

講 師 亀 山 就 平 …………… 16

令和6年度チャレンジ大学講座実施報告

－アクロバット講座・体づくり運動広場の課題と展望について－

経営情報学部

講 師 亀 山 就 平

経営情報学部

講 師 森 赴 人

地域連携課 阿 部 裕 亨 …………… 31

地域活性化ジャーナル〈第31号〉©

発行年月日 2025年3月25日

編集・発行 新潟経営大学地域活性化研究所

住 所 〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2

T E L (0256) 53-3000 (代表)

F A X (0256) 53-4544

E-mail glocal@duck.niigataum.ac.jp

印 刷 株式会社 博進堂